

研究課題名 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー患者の予後関連因子に関する検討

研究代表機関
 研究期間
 対象者
 研究代表機関
 1990年1月1日～2025年3月31日までの間に、広島大学病院脳神経内科、広島市立広島市民病院脳神経内科、県立広島病院脳神経内科を受診される慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー診断基準を満たす患者さん。
 広島市立広島市民病院脳神経内科
 県立広島病院脳神経内科

研究期間 2017年5月15日～2026年3月31日
 助教 杉本太路が記録を集計し、解析を行います。

対象者
 研究代表機関
 1990年1月1日～2025年3月31日までの間に、広島大学病院脳神経内科、広島市立広島市民病院脳神経内科、県立広島病院脳神経内科を受診される慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー診断基準を満たす患者さん。
 広島市立広島市民病院脳神経内科
 県立広島病院脳神経内科

意義・目的

慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー患者さんの長期予後ならびにその予後に関連する因子についてはいくつか報告はありますが、まだ十分ではありません。今回、上記患者さんの長期予後ならびにその予後に関連する因子を検討し今後の診療に役立てていくために、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、性別、血液および髄液検査、治療薬、神経伝導検査、神経生検、神経超音波検査、家族歴、併存疾患、歩行などの全身状態の経過記録です。

慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー患者さんの調査を専門に行っている広島大学病院が収集

（個人を特定可能な情報は解析に用いません）